

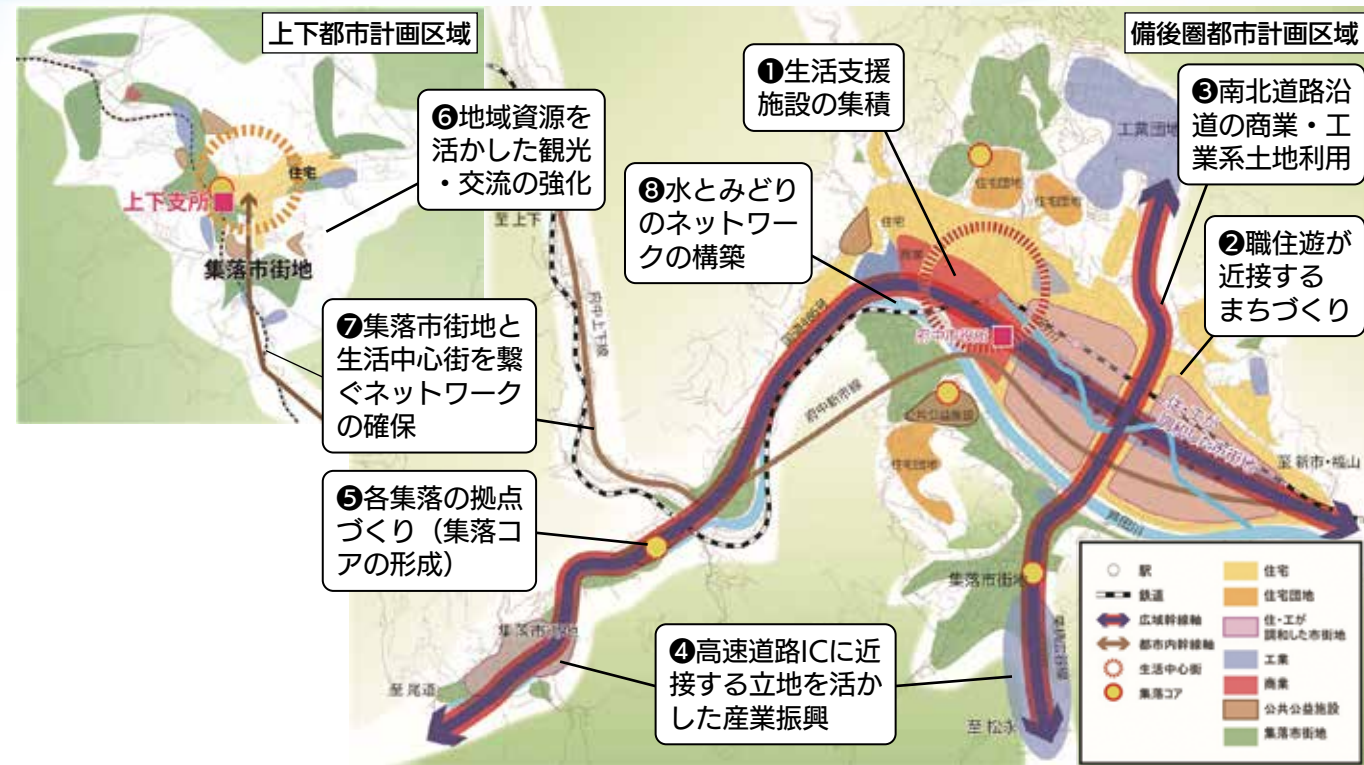
【都市づくりの理念】

輝く魅力・活力生み出す クリエイティブシティ ふちゅう

府中市は、多くの人を引き付ける歴史や文化の他に、豊かな自然環境、多種多様なものづくり産業の集積、教育・子育ての取り組み、活発な地域の連携など、新旧が入り混じったあらゆる魅力・活

力を生み出しているまちであり、今後もあらゆる分野において魅力を生み出していくクリエイティブな（創造力のある）まちを目指していきます。

【都市整備の方針】



方針1 土地利用（上記①～⑥）

過ごしやすいまちなかに向け、市中心部への拠点施設を集めることや、産業の中心地に公園などの憩いの場を設けることなど、土地の特性を活かして利用します。

方針2 交通施設などの整備（道路ネットワークづくり）（⑦）

市民の生活や経済活動に欠かせない市内外の物流・交流を担う道路整備・強化や、快適なまちなかに向けた歩行空間の整備など、道路ごとの役割を明確にした道路ネットワークづくりを進めます。

方針3 公共交通網の維持・充実（⑧）

市民の移動を支える鉄道・バスなどの公共交通の維持・確保や、利用しやすい安全で快適な移動に向けた取り組みを進めます。

方針4 公園緑地整備（憩いの場づくり）（⑨）

居心地の良いまちなかの実現に向け、身近な公園や河川などの整備による、水とみどり豊かな空間整備を行います。

方針5 農地と森林の整備、保全、活用

農地が持つさまざまな機能の活用や豊富な農地を活かした住環境づくりなど、農地の保全・活用を進めます。

方針6 都市環境・景観形成（自然と歴史を活かした景観づくり）（⑥）

観光振興に向けた自然や歴史資源を活かした景観づくりや、環境に配慮した都市づくりを進めます。

方針7 安全・安心な都市づくり（災害に備えた都市づくり）

災害に備えた事前事後の対策や、避難行動の強化により、安全安心な都市づくりを行います。

方針8 主な供給処理施設整備

汚水処理の早期普及や環境負荷・ごみ処理負荷の軽減に向けた広域処理を進めます。

方針9 市民生活を支える住環境整備

子育て支援の充実や空き家対策・活用、地域コミュニティの育成など、誰もが暮らしやすいまちなかの実現に向けた住環境の整備を進めます。

【都市づくりの目標】

目標1 暮らしやすい土地利用による都市の健全な発展を図ります

目標2 産業による活気と魅力があふれる市街地を形成します

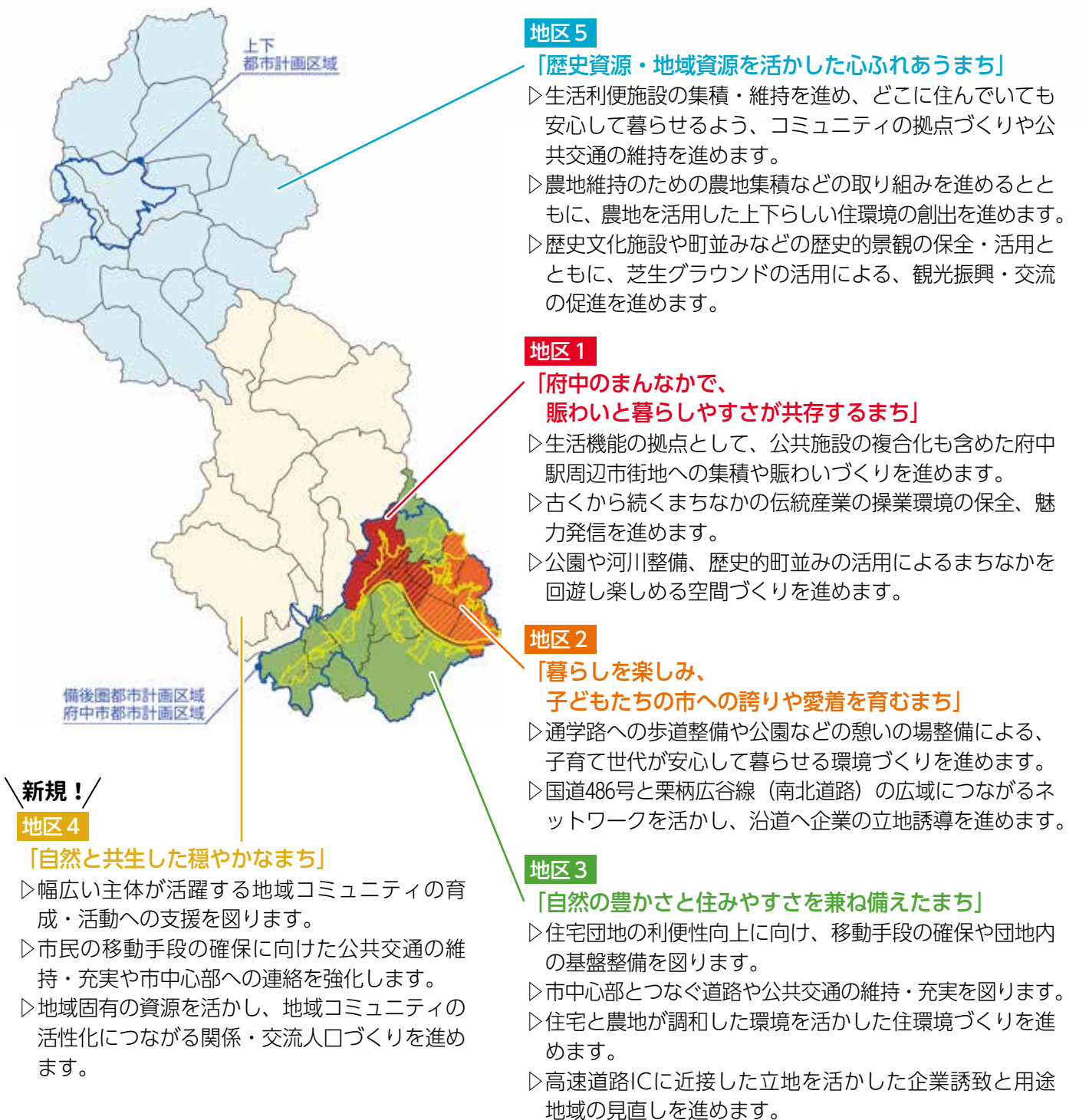
目標3 生活中心街の拠点性向上、基本市街地と集落市街地をつなぐネットワークを強化します

目標4 住みやすいまちの実現に向けた環境の整備を行います

目標5 災害に強い、安全・安心な基盤整備を進めます

【地域別構想】

府中市を5つの地区に分け、地域別の都市計画に関する基本的な方針を示しました。今回の見直しでは新たに、都市計画区域外の集落市街地（地区4）の方針を示しています。



地区5
「歴史資源・地域資源を活かした心ふれあうまち」
 ▷生活利便施設の集積・維持を進め、どこに住んでいても安心して暮らせるよう、コミュニティの拠点づくりや公共交通の維持を進めます。
 ▷農地維持のための農地集積などの取り組みを進めるとともに、農地を活用した上下らしい住環境の創出を進めます。
 ▷歴史文化施設や町並みなどの歴史的景観の保全・活用とともに、芝生グラウンドの活用による、観光振興・交流の促進を進めます。

地区1
「府中のまんなかで、賑わいと暮らしやすさが共存するまち」
 ▷生活機能の拠点として、公共施設の複合化も含めた府中駅周辺市街地への集積や賑わいづくりを進めます。
 ▷古くから続くまちなかの伝統産業の操業環境の保全、魅力発信を進めます。
 ▷公園や河川整備、歴史的町並みの活用によるまちなかを回遊し楽しめる空間づくりを進めます。

地区2
「暮らしを楽しみ、子どもたちの市への誇りや愛着を育むまち」
 ▷通学路への歩道整備や公園などの憩いの場整備による、子育て世代が安心して暮らせる環境づくりを進めます。
 ▷国道486号と栗柄広谷線（南北道路）の広域につながるネットワークを活かし、沿道へ企業の立地誘導を進めます。

地区3
「自然の豊かさ住みやすさを兼ね備えたまち」
 ▷住宅団地の利便性向上に向け、移動手段の確保や団地内の基盤整備を図ります。
 ▷市中心部とつなぐ道路や公共交通の維持・充実を図ります。
 ▷住宅と農地が調和した環境を活かした住環境づくりを進めます。
 ▷高速道路ICに近接した立地を活かした企業誘致と用途地域の見直しを進めます。

新規！
地区4
「自然と共生した穏やかなまち」
 ▷幅広い主体が活躍する地域コミュニティの育成・活動への支援を図ります。
 ▷市民の移動手段の確保に向けた公共交通の維持・充実や市中心部への連絡を強化します。
 ▷地域固有の資源を活かし、地域コミュニティの活性化につながる関係・交流人口づくりを進めます。